

NASAがすすめるアルテミス計画とは？

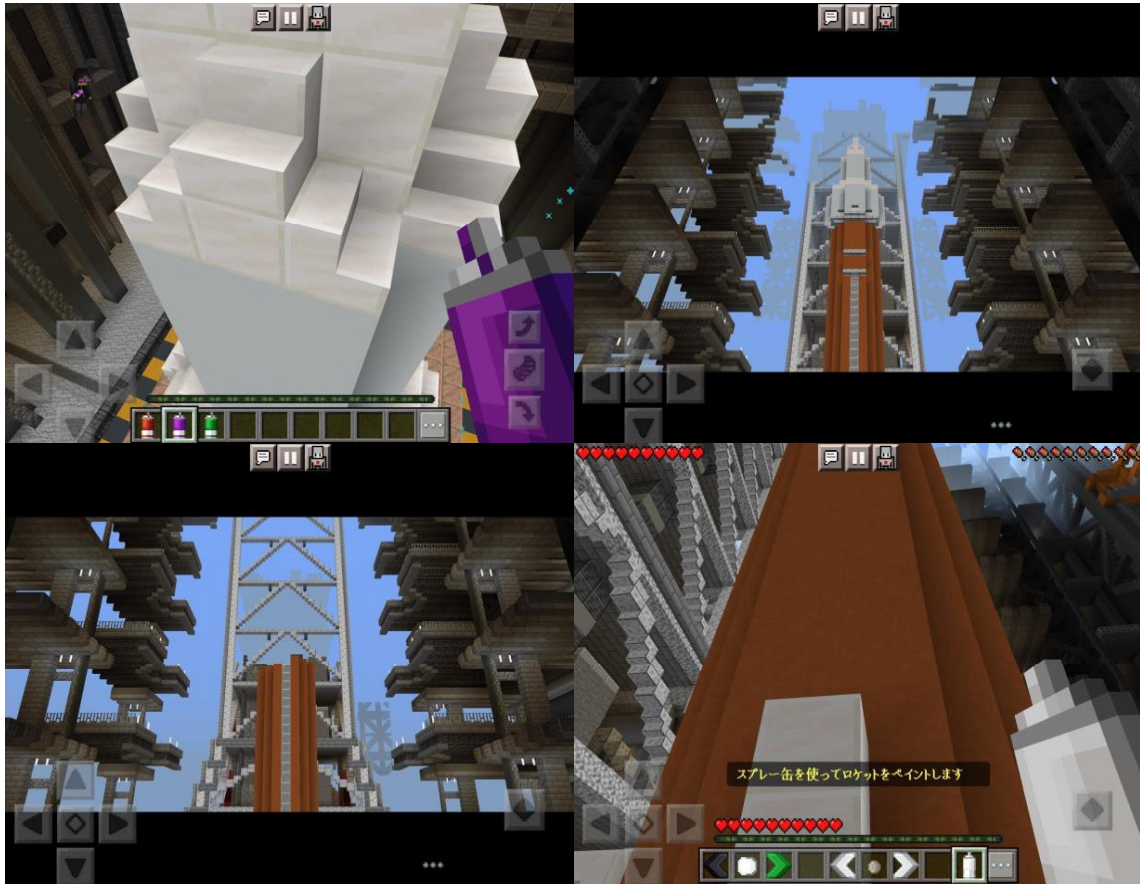
アルテミス計画とは、アメリカ政府が出資する月面着陸のこと。

日本のNASAが14年ぶりとなる2人の日本人宇宙飛行士候補が発表され、「アルテミス世代」の宇宙飛行士候補として紹介されていた。これはまさにNASAが進めているアルテミス計画に合わせたもので、日本のNASAもここに協力している。

アルテミス計画は、最初期のロケットである、アルテミス1号が2022年11月に無人飛行に成功。無事にカプセルが地球に帰還している。次のステップとして、2024年にアルテミス2号による有人ミッションが予定されており、月を周回し地球に帰還するという。そして2025年のアルテミス3号は有人月面着陸のミッションに挑戦。さらにその先には、火星への有人探索計画という壮大なビジョンが描かれている。

まず初めに話を聞きますその次にこの試運転をします。
しかし予算が決められているので予算内にしないとならない。
また予算オーバーになったり飛ばなかったら右のような表示が出ます。





試運転が完了したらその次に自分好みにロケットをアレンジします。(色を塗ったりして)

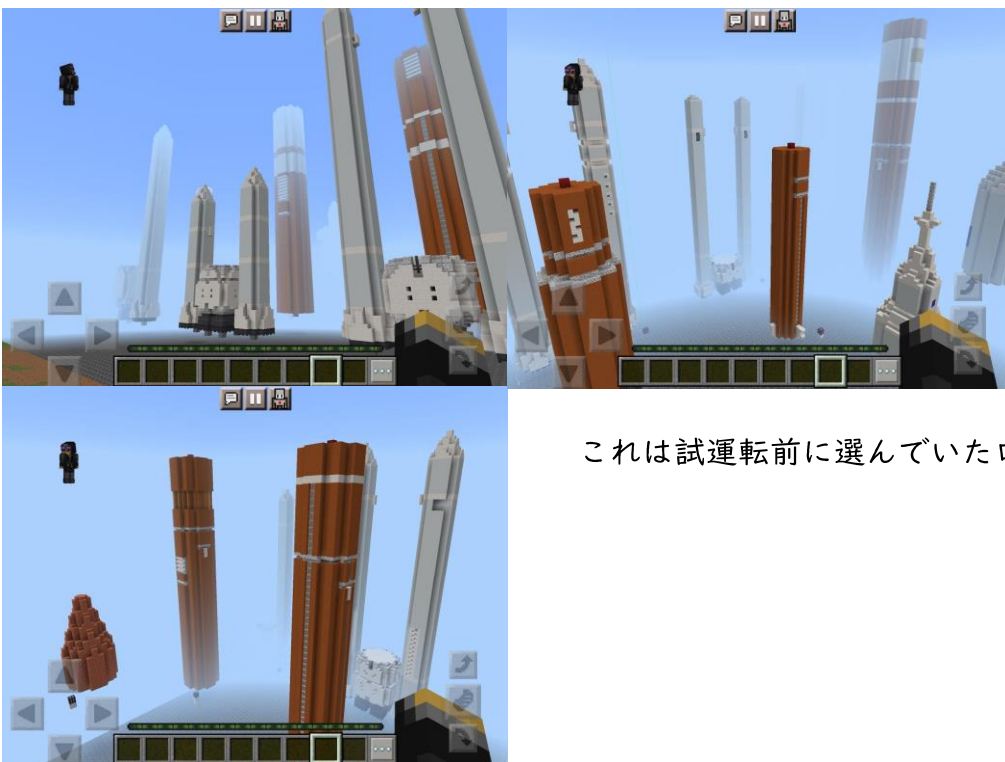


いよいよ飛ばします。
天候、温度、風向きをかくにんして。



全てのミッションが終わったらこの画面になる。

おまけ



これは試運転前に選んでいたロケットの部品です。

夏休み自由課題

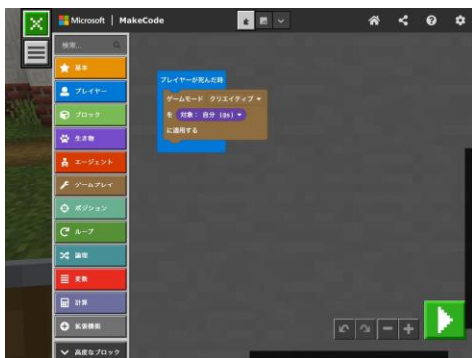
マイクラ 人狼 作ってみた

まずはコマンドでどんなものでも一撃で倒せる斧を作る



コマンド

そしてプログラミングで殺された人がクリエイティブモードになるようにします



最後にコマンドでスタート、終了と合図ができるようにします



コマンド

完成です

難しかった点

コマンドがうまく実行されなかったことが多かったため何度もやり直したり、プログラミングがうまくできなかったりしたためプログラミングをなん回もしなおしたりした

NASAとは・・・アメリカ航空宇宙局のことである

アメリカ政府の機関で、非軍事宇宙・航空関係の研究
開発を担当しています

天文学など幅広い研究開発活動をしています。

本部はワシントンにあり、友人飛行センターをはじめ、宇宙
飛行センターや各種研究所を全米各地に施設を持っています

有人宇宙計画は、現在ではスペースシャトル過去にはマーキュリー
計画、ジェミニ計画、アポロ計画を実行しています。

無人惑星探査では、火星探査計画が注目を集め、過去にはパイオニア
計画、ボイジャー計画、バイキング計画などがあります。

天文学の分野では、ハワイ州マウナケア山の赤外線望遠鏡施設や
カイパー飛行機搭載天文台の運用と研究を行っています

さらに、ハッブル宇宙望遠鏡などの天文観測衛生開発・運用や研究を
行う。

惑星探査機・・・惑星やその衛星の観測、調査を目的とした探査機のことをいう。

惑星の探査は1960年代からアメリカ、旧ソ連により開始されまし
た。

日本の惑星探査機は、のぞみ（火星）はやぶさ（小惑星）
かぐや（月）があります

また、金星に行く・・・PLANET-C

水星に行く・・・MMO

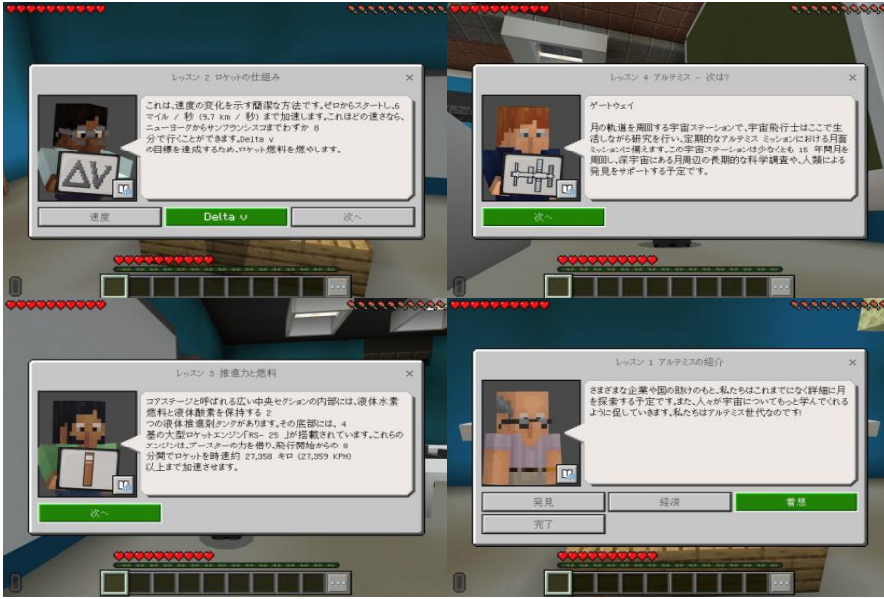
いう、ミッションが計画されています

アルテミス計画・・・2020年10月アメリカ・日本・カナダ・イギリス・イタリア
ルクセンブルク・UAE・オーストラリアの8カ国で始めた、宇宙計画です。

半世紀ぶりの有人月面着陸を目指す「アルテミス計画」
NASAが主導する国際協力プロジェクトのこと。
2024年後半から25年はじめに有人衛星を月の周回軌道に乗せ人類を月面に送り込む計画である

夏休み自由課題

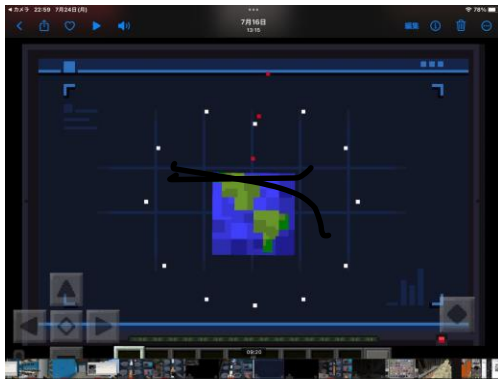
僕は、アルテミス・ロケットビルドに挑戦しました。
まずワールドに入るとロケットの原理や法則、公式などの
レッスンを受けます。



レッスンを受けている様子

その後エレベーターに乗るといよいよ実験していきます。
そこでいろいろ実験して一番良い方法を試して頑張ります。

①



問題点
目的地を通り過ぎた

改良点
燃料と推力を減らすかロケットの質量を増やす

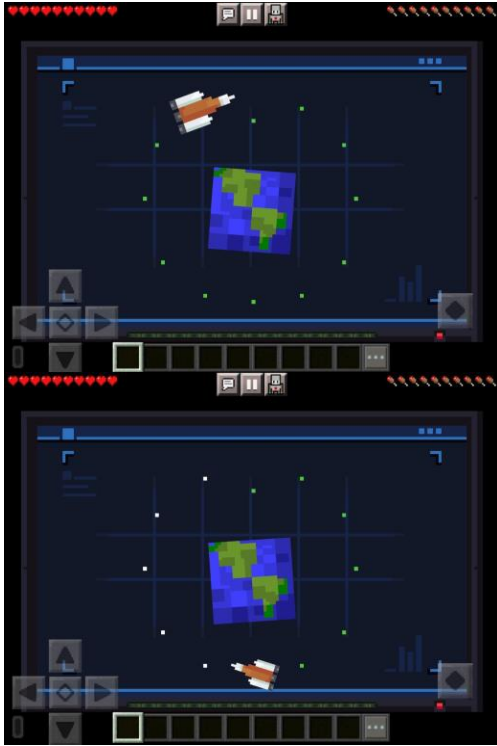
②



問題点
ロケットが飛ばない

改良点
上昇するための推力を上げる
燃料も多く入れる

③



成功 ロケットが軌道に乗り1周した



ロケットを塗装し、周回させ完成



テレビで、月の土地を売っているのを見ました

米国のルナエンパシー社がアメリカ合衆国と旧ソビエト連邦、国連に提出した土地の宣誓書です

僕は受験が終わり月の土地を買ってもらいました
アルテミス計画を早く成功させてほしいです

予算は色々組み合わせてできました。そして最初は魚の水槽をイメージして作りましたそしてロケットのデザインは、落書きです。



次は月まで行くロケットです。また予算を色々細め建てて作りました。そして今回のデザインは隠れ家をイメージしました。そして、あえてロケットの塗装はしませんでした。隠れている風にするためです。

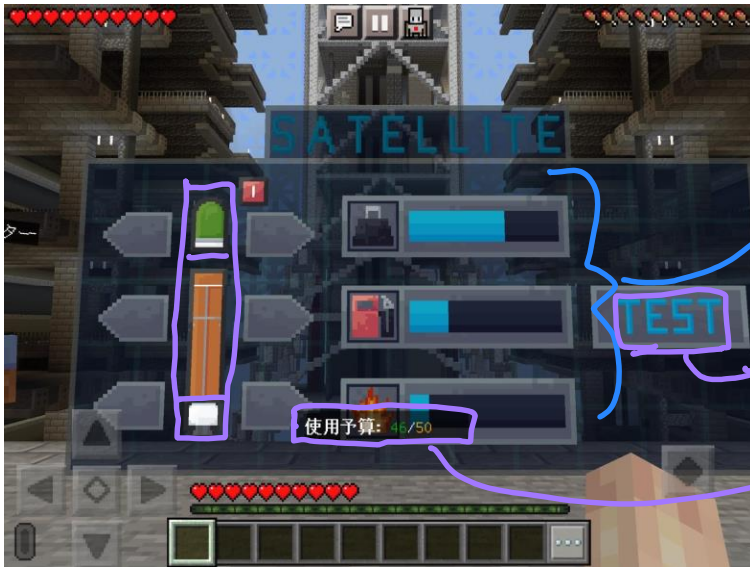


次は人や物を運ぶためにモダン風になりました。これも塗装をしませんでした。



感想:ロケットには燃料などさまざまな課題があることを知りました。

僕はアルテミスロケットビルドを選
ました。



重力、推力、燃料

た村

予算が決まっているこの場合、予算は50



発展!



ロケットが行く月までの距離を見よう

方向OK



天候+温度もOK

月に出発



まだロケットを月に到着させることができた。

次のミッション



今度は月に貨物を送るロケットを作る。

準備の準備

準備中



準備完了



ロケットの上の部分を送る。



準備完了



「次」
最後のミッション
→

ロケットを飛ばすときと同じようにある。



ついにアルテミスロケットビルドの
ミッションはおわり。

エンディング
→



次のページはロケットを飛ばすのに必要なワレ

夏休み自由課題

クローラードライバー
こんにちは、私の仕事は、ロケットを車両組立棟から発射台まで運ぶクローラーを運転することです。フル装備のクローラーランスポーターの重量は約 10900 トンです！

Wikipedia

画像統合リード
こんにちは、画像統合リードである私のチームは、NASA がこの歴史的な打ち上げを記録するだけでなく、重要なエンジニアリング データを残すために必要な画像をどのように撮影するかを計画を立てています。

安全責任者
こんにちは、私は安全責任者です。宇宙飛行士が安全に宇宙を航行し、生活を営み、仕事をしてく上で、オリオン乗組員アセルや、スペース・ローンチシステム、その他のシステムの安全要件が満たされているかどうかを確認するのが私の仕事です。

地上支援グループ

テスト ディレクター
私はテスト ディレクターとして、飛行・地上ハードウェアのテストを監督しています。テストの打ち上げ前、回収の際に打ち上げチームを統率する役割を担う役職です。

ローンチ ディレクター
こんにちは私は NASA のローンチ ディレクターです。私は、NASA のアルテミス 1 号と呼ばれる最初の飛行テストでスペース・ローンチシステム、ロケットとオリオン宇宙船の打ち上げを監督しています。

低過工学技術者
こんにちは、私は NASA の低過工学技術者です。ロケット燃料が打ち上げに安全であることを確認するのが私の仕事です。私たちのチームは、潜在的な危険を孕む漏出を修理しなければならないこともあります。

コンポーネント エンジニア
こんにちは、私はコンポーネント エンジニアです。私は SLS の外部を動かすエンジンを手助けしています。

Wikipedia

地上支援グループ
こんにちは、私は地上支援グループの一員です。液体推進剤(燃料)をタンクに詰め込むのが私の仕事です。SLS の場合、推進剤は液体水素と液体酸素のことで、

Wikipedia

安全責任者

数学の関連

The image shows two screenshots of a game interface, likely from a space-themed educational game. The background is a dark brown, textured surface with red heart icons at the top and bottom edges, and a row of grey rectangular blocks in the middle. A character with brown hair and a green shirt is visible in the background of both screenshots.

Lesson 3: Thrust and Fuel (Lesson 3 推進力と燃料)

Lesson 1: まず側面には、固体ロケットブースターがあります。SLS には 2 つの固体ロケットブースターがあり、毎秒約 6 トンの固体燃料を燃焼させて、巨大なロケットを発射台から持ち上げて宇宙へと打ち上げます。固体ブースターはわずか 2 分でその役目を終えます。

Lesson 2: コアステージと呼ばれる広い中央セクションの内部には、液体水素燃料と液体酸素を保持する 2 つの液体推進剤タンクがあります。その底部には、4 基の大型ロケットエンジン「RS- 25 」が搭載されています。これらのエンジンは、ブースターの力を借り、飛行開始からの 8 分間でロケットを時速約 27,358 キロ (27,359 KPH) 以上まで加速させます。